

DF技術部会瓦版第41号

発行：2017年2月10日 世話役：立石裕夫 副世話役：成田 嘉宏
編集・文責：岡田隆雄



例会 2月2日（木）

14時：例会	東京ウイメンズプラザ	……	出席者24名
17時：懇親会	傳八 青山	……	出席者15名

【目次】

今年度計画 立石世話役

事務局連絡 保坂事務局長

分科会活動報告

- 理科実験グループ報告（眞弓博司会員 No.491）
- 経済・産業懇話会（浅野応孝会員 No.84）
- リスクセンス研究会報告（中田邦臣会員 No.597）
- 医療懇話会（赤堀智行会員 No.899）

講話「自動車業界を巡る構造変化とホンダの挑戦」（有吉和幸会員 No.1035）

新しい仲間のご紹介

編集後記（世話役、編集者）

次回例会のご案内

今年度計画 立石世話役

開始にあたって、立石世話役から以下の報告がありました。

1. 今年度の運営方針

基本的に前年度までの方針を継承するも、以下を追加施策としたい。

1. 医療懇話会との協業を増やす
2. 部会員のコミュニケーション促進策として、情報発信をしやすい仕組みの構築

部会の構成として、

1. 講話内容等による定例会開始時刻の変更提案（出席者から毎回変わるの混乱があるので開始時刻は同じが好ましいとの意見あり）
2. 招聘講師により会費の増額提案

12月後会計報告

2. 新しく有吉和幸様が技術部会の会員になりました。

今後とも、私共の仲間を増やすべく新入会員の勧誘にご協力ください。

立石世話役の説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。

尚、新入会員の皆様からは自己紹介文（下記）を投稿いただいています。



事務局連絡 保坂事務局長

保坂事務局長から現在のDFの活動状況について説明がありました。

会員の皆様には3つのお願いとして以下が話されました。

1. 講演交流会に出席してください。良いお話がたくさんあります。
2. 講演交流会での講師を推薦してください。
3. DFに加入できそうな人を推薦してください。



分科会報告

各分科会リーダーの方から、活動状況の報告がありました。

1) 理科実験グループ

眞弓サブリーダーから次の報告がありました。

- ・ 2016 年イベントは 151 回
ニーズ増と認知度向上
延参加児童数 8,355 名 延メンバー参加者数 1,344 名
 - ・ 現在会員数 68 名 (2015 年末比+10)
 - ・ テーマ数 15+開発中テーマ：モーター、地球儀
 - ・ DF15 年史外部の声：3 件寄稿 ・ グループ史編纂開始
 - ・ 日本化学連合「化学コミュニケーション賞 2016」に応募 「子供達に化学の楽しさを伝える理科実験活動」
 - ・ 気仙沼小原木小での教室が三陸新報で報道
- 眞弓サブリーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



2) 経済・産業想話会

浅野リーダーから次の報告がありました。

- ・ 1 月は恒例の望月直躬さんによる「「17 年の経済見通しとニュースの勤所」
 - ・ 今後の予定は；
2 月は中塚晴夫さんの「IoT と ARM マイコン」
3 月は物流最前線見学として 羽田クロノゲート (クロネコヤマト) 最新物流管理
4 月は菅原信夫さん (元伊藤忠 ロシア問題専門コンサルタントの「ロシア問題の現状 (仮)」
5 月は今村哲也さん (元花王) 「花王の作る界面の世界 (仮)」
- その後はエネルギー問題の再考とトランプ大統領滑り出し再検証を予定しています。



浅野リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。

3) リスクセンス研究会

中田リーダーからリスクセンス推進活動の報告がありました。

次の通りです。

- ・ 2016 リスクセンス (注) フォーラムへの参加のお願い
本年度も 3 月 11 日に東大弥生講堂アネックスで開催されます。
是非ご参加下さい。
- ・ リスクセンス向上活動を企業で導入してもらうために
DF 内でのリスクセンスの有用性・有効性が認められなければ、企業への導入は難しい。梅里さんの協力を得て DF 内の伝道を強化していく。

中田リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



4) 医療懇話会

赤堀リーダーから次の報告がありました。

4 番目の分科会として、医療懇話会を立ち上げました。

- ・名称：医療懇話会
- ・目的：部会内メンバーを対象に、
加齢に伴う健康と疾病に関するテーマの役立つ健康講座
- ・世話人：佐藤 和恵先生

12月に加え1～2/年定例会時に共催。

赤堀リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



講話「自動車業界を巡る構造変化とホンダの挑戦」（有吉和幸会員）

有吉さんから、世界と日本の自動車産業を取り巻く状況、ご自身の目を通してご覧になったホンダとはと言うテーマでご講話戴きました。

メーカーによって生産拠点戦略の違い

技術の進歩とデジタル化で製品の差別化が益々難しくなってきた現状等。

本田宗一郎が実際経営の舵を握っていたのは初期だけ

その思想は脈々と受け継がれていること。

とても興味深い内容でした。

有吉さんの講話資料は、[こちら](#)をご覧ください。



新しい仲間のご紹介

今回、講話をご担当いただいた有吉さんは、新しく技術部会に入会された方です。

有吉さんからは、次の自己紹介を載っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

有吉和幸様 自己紹介

元本田技研の有吉と申します。

ホンダでの略歴は発表資料にあるので入社前までの話をさせていただきます。

昭和28年3月の東京生まれです。父親は公務員（林野庁）です。小学生の時に青森県の大間に転勤しました。大間というとマグロで有名ですが食べた記憶はありません。津軽弁はまるで外国語のようになり、年配の人の話は全く分かりませんでした。6年生の時に青森市に転勤になります。冬になると校庭にブ

ルトーザーが来て雪山をつくり、スキーの授業が始まります。

中学の時にさらに寒い北海道の北見に転勤になります。冷蔵庫は凍らせたくないものを入れておく場所です。校庭の雪を踏み固め、その後散水車で楕円形に水を撒き、凍ってでこぼこな所にヤカンでお湯をかけ平らにすると、つるつるのスケートリンクが完成です。リンクではスピードスケート。リンクの中では、サッカーをするのですが、みんな氷の上を平気で走って行きます。自分は滑って走れませんでした。

親が東京に転勤することになり高校一年1学期に九段高校の編入試験を受けました。合格はしましたが異動は延期になり神楽坂に下宿する事になりました。すぐに学園紛争が始まり、授業が出来ない日が続きました。親が居ない環境で北海道から神楽坂ですから結構羽目を外した生活をしていました。

そのまま神楽坂の理科大に入りました。理学部数学科で、純粋数学です。大学時代は麻雀で確率の勉強ばかりしていました。卒業の時はオイルショックで、先生か IT しか就職が無いと言われていました。コンピューターは専攻していなかったので専門会社ではなく IT 以外の仕事もある普通の会社のコンピューター部門を目指すことにしました。第一志望は銀行か保険会社でしたが採用枠が無く、結局ホンダになりました。なんでいまさら製造業に行くのかと結構言われましたが、終わってみるとホンダで良かったと思っています。

これからよろしくお願いします。

編集後記

今年度、成田さんとともに世話役を担当いたします立石です。小生にとっては過分なお役目と認識していますが、皆様のご満足いただけるような部会運営に努めたく考えています。皆様のご支援をお願いいたします。

今回の講話は、ホンダご出身の有吉さんの自動車業界に関わるお話しでした。日本の産業の中でも自動車産業の果たす役割は大きく、その構造変化については興味をもって拝聴しました。特に印象深かったのは、IoT の技術と相俟って自動車の IT 化が進んでいることでした。「走るサーバー」から「走るデータセンター」に向かっているとのことでした。

最後に、今回は成田さんが所用があり欠席されましたので、前任世話役の岡田さんに副世話役のお役目を特にお願いたしました。岡田さんには、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

世話役 立石裕夫

技術部会のお役を退き安心しておりましたら、見透かされたように立石さんから瓦版を纏めるよう依頼されてしまいました。編集作業を実際にやってみて瓦版を担当された方々のご苦勞が身にしました。何でも自分でやってみなければいけないと再確認致しました。有吉さんのお話は興味深く聞かせて戴きました。新世話役執行部を陰ながらサポートしてゆきたいと思います。

編集・文責 岡田隆雄

今後の技術部会のお知らせ

2017年度第2回以降の定例会は、次を予定しています。どうぞ、ご出席ください。

- ・第2回 4/6 ウィメンズプラザ
講話 「社会人大学院でMOT教育を経験して」 山岡齊会員
講話 「高齢者及び家族の抱える諸問題について」

以上